

2009 年度事業活動報告

(2009 年 5 月 1 日～2010 年 4 月 30 日)

2009 年度、「アジアの女性と子どもネットワーク」は国内広報事業に力を注ぎました。「横浜開港 150 周年」記念事業に長期出展し、協力先のタイの状況を多くの方に伝えることができました。これまでの活動の集大成ともいえる出展を行い、それにより支援の輪がさらに広がったことは大きな成果です。

国際協力事業に関しては、タイ国チェンライ県のチャイルドセンターの子どもたちへの給食支援、チェンマイ県の AIDS 孤児への奨学支援等を実施しました。

国際協力活動

1. おなかいっぱいプロジェクト

今年度前期は、昨年度に引き続きタイ国チェンライ県の山岳民族の子どもが通うチャイルドセンター（幼稚園）への給食支援を実施しました。昨年からの事業により子どもたちの身長、体重が増加し少しずつ効果が見え始めました。後期はチャイルドセンターの運営が「山岳民族福祉局」から「地方行政組織」に変わり、運営母体自身が給食を実施できるようになり、このプロジェクトの目的を果たすことができたため撤退し、支援先をタイ国チェンライ県チェンセンにあるストリートチルドレンの保護施設「子どもの家」に変更しました。

この施設には 4 歳から 18 歳までの 60 人の子どもたちが共同生活をしています。胎児の時から親の麻薬中毒や栄養不足の影響を受けている子ども多数おり、発育を助けるための食事の支援を行いました。毎日の食事は当番子どもたちが作っています。今後はスタディツアーなどの機会を通して子どもたちとの交流も図り、成長を見守っていきたくと考えています。

この事業は一口 500 円の「まんぶく基金」、「昔き損じはがき」の寄付と、「おなかいっぱい T シャツ」の収益で賄われています。

3. AIDS 孤児里親支援

今年度特筆すべき事業は横浜開港 150 周年の会場で、長い間支援を続けている「愛の家」と設立当時に井戸掘り事業を実施した「バーンサンタ」の 2 か所の AIDS 孤児施設の子どもたちとテレビ受像機を通じたインターネット通信で交流をしたことです。日本側のイベントに参加している子どもたちが歌った歌にタイの子どもたちが拍手を送り、お返しに歌ってくれるなど、素晴らしい交流ができました。

AIDS 孤児支援金は以下の 2 団体に送りました。

- (1) タイ国チェンマイ県の AIDS 孤児施設「愛の家」に子どもたちの日常のケアと薬代及び通学にかかる費用を支援するために支援金を送金しました。

この支援金はこの施設の中の HIV 陽性の子どもたちのための支援金です。

- (2) タイ国チェンマイ県の郊外にある AIDS 孤児養護施設「希望の家」の子どもたちのための奨学金を送金しました。この施設では大学進学を希望している子どもが 2 名おり、その奨学金に充てると報告を受けています。

この事業は「AIDS 孤児里親基金」の寄付とバザーの収入で賄われています。

4. スタディツアー

本年度はタイ国内の政情不安のために、方が一のことを考えてスタディツアーを取りやめました。

国内活動

1. 横浜開港 150 周年事業「開国博 Y150」出展

横浜開国から 150 年を祝う「開国博」市民出展スペース「ヒルサイド」に 7 月と 9 月の 2 回出展し、展示、講演会、映画上映、絵本の朗読、フェアトレード品の販売、民族衣装の試着体験などを実施し、タイの子どもたちの状況を来場者に伝えました。

(1) 「世界とつながる！国際協力ひろば&ステージ」

7 月 4 日（土）～20 日（月）、(特活)横浜 NGO 連絡会がヒルサイドで主催したイベントでおなかいっぱい T シャツやフェアトレード品の販売をしました。

(2) 映画上映会

7 月 19 日（日）ヒルサイド会場のつながりのステージで 2008 年に公開され話題を呼んだ映画「闇の子供たち」を上映しました。子どもの人身売買の問題をテーマにした映画で、来場された方から「重いテーマであるが、正面から向き合いたい」等の感想を頂きました。

(3) 講演会

7 月 25 日（土）ヒルサイド会場のつながりのステージで「AIDS、まだ他人事だと思いませんか？」と題して講演会を開催しました。

若者の HIV 感染が増加している日本の現状と、今、私たちがこの課題とどのように向き合っていくかについてお話しいただきました。

(4) シンポジウム

7 月 19 日（日）横浜市内で活動する団体のカウンターパートがフィリピンとタイから来日し、つながりのステージでシンポジウムが開催されました。マリ代表がコーディネーターを務めました。

(5) たねまるの北タイ暮らし体験

9 月 15 日（火）～27 日（日）ヒルサイド会場のつながりの広場で、AWC のタイでの活動の様子をさまざまな手法を使って紹介するブースを開催しました。

北タイを旅した開国博キャラクター「たねまる」の写真展示、並びにゲーム、スゴロク、民族衣装の試着、インターネット通信を使ってのタイとの交信などです。どの企画も多くの方の参加がありました。

(6) HIV/AIDS について考えよう！

9 月 15 日（火）～21 日（月）つながりの広場で HIV/AIDS の啓発展示を開催しました。

写真パネル・AIDS 孤児の絵画展示とともに、プラバンで AIDS 啓発のレッドリボンのオリジナルストラップを作る参加コーナーがあり、連日にぎわいました。

(7) 朗読

9 月 19 日（土）つながりのステージで子どもの人身売買を描いた絵本「こどもの権利を買わないで～ブンとミーチャのものがたり～」の朗読を開催しました。朗読に合わせて歌とチェロの生演奏が加わり、買われた子どもの気持ち、叫びを来場者の心に訴えました。本の原作者の大久保真紀さんもお来場され、この問題を多くの方が考えていくことの重要性をお話しされました。来場者からたくさんの方の賞賛の声を頂きました。

2. 講演会

2009 年 5 月 30 日（土）JICA 横浜国際研修センターでタイの NGO 「Link～森と水と人をつなぐ会～」代表の木村茂さんをお招きし、講演会を開催しました。

- ・タイトル：「タイの森を守る人を支える」
- ・講師：木村 茂（Link～森と水と人をつなぐ会～代表）
- ・会場：JICA 横浜センター

6. 各種イベントへの参加

横浜開国博 Y150 への参加のほか、例年開催される以下のイベントに参加しました。

(1) グローバルフェスタ JAPAN 2009

2009年10月3日(土)～4日(日)日比谷公園で開催されたグローバルフェスタに参加しました。

(2) 横浜国際協力フェスタ 2009

2009年9月5日(土)～6日(日)パシフィコ横浜で開催された横浜国際協力フェスタ 2009に参加しました。今年は横浜開国博の関連イベントとして、例年より早い9月に開催されました。

(3) 世界エイズデー in Yokohama

2009年11月28日(土)横浜駅東口そごう前で開催された世界エイズデーに向けてのイベントに参加、プラバンでのレッドリボンのストラップ作りを行いました。

(4) バザー

4月29日(水・祝)	かながわく国際交流まつり
5月16日(土)～17日(日)	あーすフェスタかながわ2009
6月6日(土)	白根学園バザー
6月6日(土)～7日(日)	なか区民活動センターまつり
7月25日(土)～7月26日(日)	港南台国際協力まつり
7月31日(金)～8月2日(日)	AIDS文化フォーラム in 横浜 2009
8月1日(土)～8月2日(日)	癒しフェア 2009 Tokyo
8月24日(日)	つるみ西口オープンカフェ
10月18日(日)	おーたむまつり 2009 フォーラム南太田
10月24日(土)	本牧ボレボレまつり 2009
12月5日(土)	白根学園バザー
3月6日(土)	ユニフェムよこはま国際女性デー2010

5. 定例活動

(1) ボランティアデー

毎月第3木曜日午後1時30分～5時、事務局でボランティアデーが行われています。ニューズレターの印刷発送を始め、リーフレットの作成、バザー準備等の作業を行ないました。2009年度は10回開催、延べ参加人数は35名

(2) バザー準備

商品管理、整理、発送等作業を、バザーにあわせて随時ボランティアが集まり、実施しました。

6. 広報活動

(1) AIDS 孤児里親通信

2009年12月15日(Vol. 3)を発行しました。

(2) まんぷく通信

2009年12月15日(Vol.2)を発行しました。

(3) ヒルサイド出展報告

2009年12月15日特別号を発行しました。

(4) AWC 事務局便り

2009年度は10号発行、ボランティアデーでの手渡し5～10人、FAX配信8人、メール配信20人、

2 箇所のメーリングリストに配信の他、寄付御礼にも同封しており、発行枚数は増えています。

(5)ホームページ

ユースメンバーがシステム管理担当の指導のもと、ホームページをリニューアルし、できるだけ新しい情報を多くの方に知っていただけるように努力しました。

7. 助成金

2009 年度は以下の助成金を受けることが出来ました。

- 横浜開国博ヒルサイド出展金 横浜市
ヒルサイドの出展に対して助成をいただきました。
- 横浜 AIDS 市民活動センター支援金
シンポジウム開催及び報告書作成
AIDS 文化フォーラムパネル作成
AWC 通信の発行及び発送

8. 書き損じはがき

「おなかいっぱいプロジェクト」の寄付として書き損じはがきを収集しています。書き損じはがき 2 枚で 3 食の給食を届けることができるという企画です。今年度も多くの方から書き損じはがきをご寄付いただくことができました。

【住所】

〒231-0015

横浜市中区尾上町 3-39 尾上町ビル 9F YAAIC 内

TEL&FAX 045-650-5430

E-mail awc@h6.dion.ne.jp

URL <http://www.awcnetwork.org>